

084

contents

常設展  
シエナ美術展  
展覧会予告  
年間スケジュール

# 天花

TENGE



三輪休運「白萩手補花入」1965年、山口県立美術館

## 常設展

小林和作室

## 「寄贈作品展」

4/9 tue ~ 7/7 sun

三輪休雪(1910~)「白萩手桶花入」、梅原龍三郎(1888~1986)「嘉靖鉢静物」、のむら静六(1916~1995)「暮れて帰る家族」など、当館が昨年度に寄贈を受けた作品のうち代表的なものを展観します。

## 表紙作品解説

三輪休雪(1910~)「白萩手桶花入」1965年 陶器 高34.5cm

土塊りの四面を断ち割り、把手をつくり、内部を削りぬいている。全体に萩の藁灰釉(白釉薬)がかけられているが、一部に釉がちぢれ黒い地が見えている。これは素地に見島土という鉄分の多い土を塗りつけておいたもので、白化粧ならぬ黒化粧ということになる。

1955年(昭和30年)から「休」と名のって作品を発表しはじめた時、すでに45歳であった。それゆえ、その出発から作陶に対する心構えは確固たるものであった。「他の者がやらない事をやる」可塑的な土を、あえて断ち割り、削りぬくというその姿勢は、まさに求道的な造形を立ち上がらせている。陶の現代を告げるモニュメンタルな作品であると私は思っている。この2年後、休は11代休雪となった。(櫻本)

## 香月泰男室

「シベリア・シリーズ」4/9~7/7  
三隅町出身の香月泰男(1911~74)は、シベリア抑留を経験し、復員後その重い体験を「シベリア・シリーズ」として描きのこしました。当館常設展示では、同シリーズを抑留体験の順を追って紹介しています。今回はシリーズ全57点の中から、応招から旧満州ハイラル駐屯地の思い出までをモチーフにした作品をセレクトして展示します。



香月泰男「ホロンバイル」山口県立美術館



山本晃「接合二重箱「草叢」」山口県立美術館

## 郷土芸室

「山口の工芸」4/9~7/7

加藤重美(1935~)らの萩焼、堀尾卓司(1910~1986)の赤間硯をはじめ、近年注目されている山本晃(1944~)の金工など、伝統と革新の交錯する山口県の工芸を紹介します。

## 資料展示室

「牛陽茂雄(2)」4/9~5/19

「大辻清司」5/21~7/7

1950年代、「実験工房」や「グラフィック集団」などジャンルの枠組みを越えた新しい表現を模索した集団に参加し、実験的な表現を探究した大辻清司(1923~2001)。被写体のフォルムや質感の持つ美しさを徹底して追及することで、何気ない日常から得体の知れない衝撃を出現させた映像20点を紹介します。



大辻清司「足について」山口県立美術館

# L'arte e la cultura di Siena

dalla collezione della Banca Monte dei Paschi di Siena e Fondazione Accademia Musicale Chigiana

モンテ デイ パスキ デイ シエナ銀行、キージ音楽アカデミー財団コレクション初公開

## シエナ美術展

—世界遺産都市の至宝 絵画・彫刻・工芸の精華—

2002 4/20(土)～6/2(日)

休館日 月曜日(月曜日が祝日もしくは振替休日の場合は翌日休館)

開館時間 9時～17時まで(入館は16時30分まで)

ただし、4月20日(土)に限り、20時まで開館(入館は19時30分まで)

観覧料 一般900(700)円 学生700(500)円

( )内は前売および20名以上の団体料金

18才以下・70才以上の方および高等学校、盲・聾・養護学校に在籍される方は無料

主催 山口県立美術館・モンテ デイ パスキ デイ シエナ銀行・朝日新聞社・テレビ山口株式会社

後援 外務省・イタリア大使館・日本におけるイタリア2001年財団

協賛 東京海上火災保険株式会社

特別協賛 山口セキスイハイム株式会社

協力 株式会社TBSビジョン・アリタリア航空株式会社

### イタリア中部の古都シエナ。

中世の息吹をそのままに伝え、700年来変わらぬ姿を保ち続けるシエナの街並みとそれをとりかこむ緑豊かな自然は、そのあまりの景観の美しさゆえに、訪れる人々を魅了し続けてきました。1995年、この都市がユネスコの世界遺産に登録されたことは、まだ、われわれの記憶に新しいところです。

とはいえ、なんとといってもその名を知らしめてきたものといえば、フィレンツェとともにルネサンス文化の黎明を予告した14世紀シエナの芸術文化、とりわけ鮮やかな色彩と流麗な描線で私たちを惹きつけてやまないシエナ絵画であるといえるでしょう。

なかでも、シエナの守護聖人である聖母マリアが

優美に描かれた絵画は、繊細華麗な装飾趣味と人間的情愛に満ちた表現を兼ね備え、これに続くイタリア美術そしてヨーロッパ美術に大きな影響を及ぼしました。華麗な装飾性のなかに清楚な情緒性を混えるシエナ派の繊細な造形表現は、フィレンツェ派の合理的な造形感覚としばしば対比されながら、優雅で気品にあふれた芸術として賞賛されてきたのです。

本展では、こうしたシエナ派の流れをくむ14～19世紀の絵画をはじめ、彫刻・陶器などシエナ美術の精華を、世界的に名高いキージ音楽財団およびモンテ デイ パスキ デイ シエナ銀行の秘蔵コレクションによる約100点で紹介いたします。(河野)



《聖ヒエロニムス、シエナの聖ベルナルディーノ、そして四人の天使をともなった聖母子》  
1450～55年 ©MPS, Chigi Saracini

【関連事業】

■エレクトーン・タイムカプセルコンサート

「音楽で旅するイタリア」

演奏者=松本玲子(高崎芸術短期大学助教授)

4月27日(土) 18時~19時30分(20時まで開館)/会場:エントランスホール

●無料●椅子座席定員先着100名(当日16時より整理券を発行)

■記念講演会

「シエナ美術とその魅力」

講師=小佐野重利(東京大学大学院人文社会系研究科教授)

5月18日(土) 14時~15時30分/会場:美術館講座室

●聴講無料●定員先着100名(当日13時より整理券を発行)

■親子で見るシエナ美術展

5月11日(土) 10時~ 小学校1~3年生対象

5月25日(土) 10時~ 小学校4~6年生対象

参加希望者は往復はがきに氏名・年齢・住所・電話番号をご記入の上、山口県立美術館までお申し込み下さい。先着10組にて締め切らせていただきます。

■学芸員による作品解説

4月27日(土)・5月12日(日) 14:00~



《バテシバ》  
ベルナルド・メイ  
1650年頃 ©MPS. Chigi Saracini



《天上の愛の寓意》  
ソドマ(本名 ジョヴァンニ・アントニオ・バツツイ)  
1504~05年 ©MPS. Chigi Saracini

展覧会予告

雪村展

戦国時代のスーパー・エキセントリック

6/22~7/28

主催:山口県立美術館・読売新聞西部本社・KRY山口放送

戦国の乱世のなかにあって、とびぬけて奇抜な絵を描き続けた画僧、雪村周継。雪村の生み出した驚くべき奇想の世界を、代表作約80点を展示することによって紹介します。



雪村周継「琴高仙人」(部分) (京都国立博物館)

ジャン=マルク・ビュスタモント展

10/16~11/24

主催:山口県立美術館

写真表現の可能性を極限まで追求した作家、ジャン=マルク・ビュスタモント(1952年、フランス生)の全貌を、写真・版画・立体、約70点で紹介する日本で初めての回顧展。



ジャン=マルク・ビュスタモント「Tableau. 17. 79」  
©Jean-Marc Bustamante

マン・レイ写真展

12/20~2/2

主催:山口県立美術館・毎日新聞社・TYSテレビ山口

1910年代から1940年代の前衛芸術運動の中心で活躍したマン・レイ(1890~1976)による写真550点余りと、マン・レイの撮影による映画を紹介します。



マン・レイ「ガラスの涙」

©Man Ray Trust / ADAGP, Paris & JVACS, Tokyo, 2002

## 特別展

## 常設展

4	4/20～6/2 モンテデ(バスキ デ) シエナ銀行、キージ音楽アカデミー財団コレクション
5	<b>シエナ美術展</b> ～遊茶瀟瀟都市の至空 絵画・彫刻・工芸の精華～
6	6/7～6/16 第25回伝統工芸新作展
7	6/22～7/28 <b>雪村展</b> 戦国時代のスーパー・エキセントリック
8	8/6～8/11 山口県・山東省友好記念事業 第20回社団法人山口県書道連盟展
8	8/16～8/25 ふるさとのアーティストたち ～山口県芸術文化関係表彰の歩みと作品～
9	9/12～9/29 第6回やまぐち県民文化祭 <b>第56回山口県美術展覧会</b>
10	10/16～11/24 <b>ジャン＝マルク・ビュスタモント展</b>
11	12/10 <del>12/11</del> 12/15 第55回学校美術展覧会
12	12/20～2003/2/2 <b>マン・レイ写真展</b>
1	2/6～2/9 山口県立大学卒業制作展
2	2/13～2/16 山口大学卒業制作展
2	2/20～2/23 山口芸術短期大学卒業制作展
3	2/28～3/9 子どもたちの粘土の未来 ～子どもと、粘土と、創り出す喜びと～

4/9			牛陽茂雄 (2)
	山口の工芸 シベリア・シリーズ I	寄贈作品展	5/19 5/21 大辻清司
7/7			
7/9		中本達也	福島菊次郎
	現代の萩焼 シベリア・シリーズ II	8/6 華麗なる花鳥画 8/25	8/18 8/20 岩宮武二
10/6			
10/8		雪舟派と雲谷派(1)	植田正治
	萩の茶陶 シベリア・シリーズ III	11/17 11/19	11/17 11/19
		雪舟派と雲谷派(2)	本庄光郎
1/5			
1/7		宮崎進展	林忠彦
	前衛陶芸 シベリア・シリーズ IV		2/9 2/11 小林和作と 松田正平 金井精一
3/30			

## Information

### ■休館日

毎週月曜(月曜が祝日もしくは振替休日の場合は翌日休館)  
および年末年始(12月28日～1月3日)

### ■開館時間

9:00～17:00(入館は16:30まで)

### ■料金

常設展: 一般190(160)円 学生120(100)円  
( )内は20名以上の団体料金

特別展: 別途に定めた料金

常設展・特別展ともに18歳以下と70歳以上および高等学校、盲・聾・養護学校に在学する方等は無料。  
教育文化週間11月1日～11月7日は全ての方が無料。

山口県立美術館  
The Yamaguchi Prefectural  
Museum of Art  
〒753-0089  
山口市亀山町3-1  
TEL: 083-925-7788  
FAX: 083-925-7790  
<http://www.pref.yamaguchi.jp/4yamaart.htm>

